

6月は「土砂災害防止月間」です。 ～局地的大雨(ゲリラ豪雨)による物流・通勤の「孤立」を防ぐ～

6月は降水量が多い時期を迎えるため、国が定める「土砂災害防止月間」となっています。近年多発している局地的大雨（ゲリラ豪雨）は、山際だけでなく都市部でも「**内水氾濫**」による**浸水被害**をもたらします。土砂災害は建物への直接被害だけでなく、周囲の道路寸断による従業員の孤立や物流停止など、事業継続（BCP）に甚大な影響を及ぼします。



2025年9月12日 四日市市で発生した内水氾濫

■ 梅雨本番前に実行したい「水害対策」

1. 重要資産の「垂直退避」

1階にサーバー、重要書類、在庫を置いている場合は、パレットでかさ上げするか、2階以上へ移動させる計画を立てましょう。



2. 排水インフラの「5S点検」

敷地内の側溝や雨どいに枯れ葉やゴミが溜まっていると、本来の排水能力が発揮されず、建物への浸水を早めます。5月中の清掃を徹底しましょう。



3. 避難ルートの「冠水リスク」確認

ハザードマップで、避難所までのルートが冠水しやすい場所（アンダーパス等）を通っていないか、従業員と再確認しましょう。



【お役立ち情報】豪雨・雷・雹から事業所を守る点検表

局地的大雨（ゲリラ豪雨）は、水害だけでなく「雷・雹・突風」を伴い、短時間で甚大な被害をもたらします。以下の項目を参考に、本番前の点検を行いましょう。

対策項目	目的	具体的なアクション
落雷対策	電子機器の故障を防ぐ	☐ 屋上の避雷設備(避雷針)の異常箇所は修理しておく ☐ 雷鳴が聞こえたら、大切なOA機器のコンセントを抜く、または雷サージ対策を講じる
雹(ひょう)対策	建物への物理的被害を防ぐ	☐ 雹が降り出したら、従業員を窓際から離れさせる ☐ シャッターがある箇所は閉めておく。事後に外壁や屋根に損傷がないか確認する
資産保護	屋外備品の飛散・流失防止	☐ 屋外の看板、資材、備品が飛ばされないよう固定を強化する ☐ 状況に応じて、事前にそれらを屋内に退避させる
避難準備	従業員の安全確保と孤立防止	☐ ハザードマップで、アンダーパス等の「冠水しやすい場所」を避けた避難ルートを再確認する ☐ 警戒レベル4で全員避難を開始するルールを再徹底する

警戒レベル4までの避難指示で必ず避難しましょう

防災気象情報 警戒レベル

5 緊急安全確保 命の危険！直ちに命を守る行動

警戒レベル4までに避難を終えておく

4 避難指示 全員速やかに危険な場所から避難

3 高齢者等避難 避難に時間を要する人は避難

局地的大雨(ゲリラ豪雨)は予測が難しく、事前の備えと初動が全てを左右します。水害による損害は、資産の喪失だけでなく「**操業停止**」という大きなリスクを孕んでいます。今回ご紹介した対策は特に費用をかけなくても、手軽で効果の高い水害対策です。ぜひ実行してほしいです。



「防火管理」という重責、一人で抱え込んでいませんか？

建物利用者様の命と企業の信頼を守る重要な仕事だからこそ、忙しさを理由に後回しにするのは大きなリスクです。消防査察の直前に慌てるのではなく、当社のプロがパートナーとして管理業務を代行し、貴社の「万全な備え」をサポートします。詳しくは担当者まで。

防災備蓄は専門店で

災害対策本舗

